

## 第4節 結核・感染症対策

### 1 結核予防

#### (1) 結核罹患状況

わが国の結核状況は、新登録患者数が年々減少しているものの、依然としてわが国最大の感染症の一つであり、世界的にも結核の中まん延国と位置付けられている。

平成29年の管内の新登録患者数(表1)は40人で、昨年より11人増加し、罹患率は17.5と昨年(12.7)に比べ増加した。感染の危険性が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数は13人で昨年に比べ4人増加し、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率は5.7と昨年と比較し増加した。新登録患者に占める割合は、31.0%と昨年同様であった。

新登録患者の年齢階層別では(表3-1)では70歳以上が30人と全体の75.0%を占め、性別で見ると(表3-2)男性が23人で罹患率が20.8、女性が17人で罹患率が

14.3と男性が多かった。新登録患者の発見方法別内訳(表3-3)では、医療機関受診が34人で全体の85.0%を占め、その他個別・定期健康診断が4人(10.0%)、接触者健康診断が1人(2.5%)であった。潜在性結核感染症に該当する者の届出は(表3-3)11人で、昨年(13人)と比較して減少している。発見方法別で見ると、接触者健康診断が9人となっており全体の69.2%を占めている。

平成29年12月末における管内での登録者数(表2)は65人で昨年より7人増加し、登録率は28.5で、石川県(22.9)を上回っている。活動性結核患者は27人で昨年より7人増加しており、有病率は11.8で昨年(8.7)と比べ増加した。

表1 新登録結核患者数、罹患率の年次推移 (単位、患者数：人、罹患率：人口10万対)

		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
南加賀管内	新登録結核患者数	31	24	35	29	40
	全結核罹患率 罹患率	13.4	10.4	15.3	12.7	17.5
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	9	12	14	9	13
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	3.9	5.2	6.1	3.9	5.7
	新登録結核患者に占める割合	29.0%	50.0%	40.0%	31.0%	31.0%
石川県	新登録結核患者数	152	149	149	126	138
	全結核罹患率 罹患率	13.1	12.9	12.9	10.9	12.0
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	57	50	65	41	56
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	4.9	4.3	5.6	3.6	4.9
	新登録結核患者に占める割合	37.5%	33.6%	43.6%	32.5%	40.5
全国	新登録結核患者数	20,495	19,615	18,280	17,625	16,789
	全結核罹患率 罹患率	16.1	15.4	14.4	13.9	13.3
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	8,119	7,651	7,131	6,642	6,359
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	6.4	6.0	5.6	5.2	5.0
	新登録結核患者に占める割合	39.6%	39.0%	39.0%	37.7	37.9

表2 結核登録者数・登録率、有病者数・有病率の年次推移 (単位：人) 平成29年12月31日現在

		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
南加賀管内	結核登録者数	64	54	65	58	65
	登録率(人口10万対)	39.1	23.4	28.3	25.4	28.5
	活動性結核患者数	25	15	22	20	27
	有病率(人口10万対)	10.8	6.5	9.6	8.7	11.8
石川県	結核登録者数	357	339	304	278	263
	登録率(人口10万対)	30.8	29.3	26.4	24.2	22.9
	活動性結核患者数	107	96	96	86	99
	有病率(人口10万対)	9.2	8.3	8.3	7.5	8.6
全国	結核登録者数	49,814	47,845	44,888	42,299	39,760
	登録率(人口10万対)	39.1	37.6	35.3	33.3	31.3
	活動性結核患者数	13,957	13,513	12,534	11,717	11,097
	有病率(人口10万対)	11.0	10.6	9.9	9.2	8.8

表 3-1 新登録患者数（活動性分類・年齢階級別）（単位：人）

平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日

	新登録患者総数	活動性結核							罹患率 (人口 10 万対)	潜在性結核感染症(別掲)治療中	
		総数	肺結核活動性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他	肺外結核活動性			
			総数	初回治療	再治療						
総数	40	31	13	11	2	16	2	9	17.5	11	
年齢階級別	0～4	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
	5～9	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
	10～14	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
	15～19	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
	20～29	3	3	1	1	0	0	2	0	15.6	3
	30～39	2	2	1	1	0	1	0	0	8.4	1
	40～49	1	1	0	0	0	1	0	0	3.0	3
	50～59	1	1	0	0	0	1	0	0	3.7	1
	60～69	3	2	0	0	0	2	0	1	9.5	1
	70～79	8	5	3	3	0	2	0	3	29.1	2
80～89	18	15	8	6	2	7	0	3	112.4	0	
90 以上	4	2	0	0	0	2	0	2	94.9	0	
40 歳以上の比率	87.5%	83.9%	84.6%	81.8%	100.0%	93.8%	0.0%	100.0%		63.6%	
70 歳以上の比率	75.0%	71.0%	84.6%	81.8%	100.0%	68.8%	0.0%	88.9%		18.2%	

表 3-2 新登録患者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）

平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日

	新登録患者総数	活動性結核							罹患率 (人口 10 万対)	潜在性結核感染症(別掲)治療中	
		総数	肺結核活動性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他	肺外結核活動性			
			総数	初回治療	再治療						
総数	40	31	13	11	2	16	2	9	17.5	11	
性別	男	23	19	7	6	1	10	2	4	20.8	6
	女	17	12	6	5	1	6	0	5	14.5	5
市町別	小松市	26	22	9	7	2	12	1	4	24.3	7
	加賀市	7	3	2	2	0	1	0	4	10.7	3
	能美市	7	6	2	2	0	3	1	1	14.3	1
	川北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 3-3 新登録患者数（発見方法別）（単位：人）

平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日

	新登録患者総数	活動性結核							構成比 (%)	潜在性結核感染症(別掲)治療中	
		総数	肺結核活動性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他	肺外結核活動性			
			総数	初回治療	再治療						
総数	40	31	13	11	2	16	2	9	100.0%	11	
健康診断	健康診断	5	4	1	1	0	2	1	1	12.5%	10
	個別健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
	定期健康診断	4	4	1	1	0	2	1	0	10.0%	1
	学校健診	1	1	0	0	0	0	1	0	2.5%	0
	住民健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
	職場健診	3	3	1	1	0	2	0	0	7.5%	1
	施設健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
	接触者健康診断	1	0	0	0	0	0	0	1	2.5%	9
家族健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	4	
その他	1	0	0	0	0	0	0	1	2.5%	5	
医療機関受診	医療機関受診	34	27	12	10	2	14	1	7	85.0%	1
	受診	21	17	7	5	2	9	1	4	52.5%	1
	他疾患入院中	11	8	4	4	0	4	0	3	27.5%	0
	他疾患通院中	2	2	1	1	0	1	0	0	5.0%	0
その他	1	0	0	0	0	0	0	1	2.5%	0	

表 4-1 結核登録者数（活動性分類・年齢階級別）（単位：人）

平成 29 年 12 月 31 日現在

	登録者 総数	総数	活動性結核						肺外 結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)		
			総数	肺結核活動性			登録時 他の 結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他				治療 中	観察 中	
				総数	初回 治療	再 治療								
総数	65	27	21	8	7	1	11	2	6	38	0	6	17	
年齢階級別	0～4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	20～29	6	3	3	1	1	0	0	2	0	3	0	2	2
	30～39	4	1	1	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0
	40～49	3	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	6
	50～59	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	60～69	6	3	2	1	1	0	1	0	1	3	0	1	4
	70～79	12	6	4	2	2	0	2	0	2	6	0	3	2
	80～89	26	9	8	3	2	1	5	0	1	17	0	0	0
90以上	6	3	1	0	0	0	1	0	2	3	0	0	0	
40歳以上の比率	83.1%	85.2%	81.0%	75.0%	71.4%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	81.6%	0.0%	66.7%	88.2%	
70歳以上の比率	67.7%	66.7%	61.9%	62.5%	57.1%	100.0%	72.7%	0.0%	83.3%	68.4%	0.0%	50.0%	11.8%	

表 4-2 結核登録者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）

平成 29 年 12 月 31 日現在

	登録者 総数	総数	活動性結核						肺外 結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)		
			総数	肺結核活動性			登録時 他の 結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他				治療 中	観察 中	
				総数	初回 治療	再 治療								
総数	65	27	21	8	7	1	11	2	6	38	0	6	17	
性別	男	41	15	12	5	4	1	5	2	3	26	0	3	7
	女	24	12	9	3	3	0	6	0	3	12	0	3	10
市町別	小松市	41	17	14	6	5	1	7	1	3	24	0	3	11
	加賀市	9	5	2	1	1	0	1	0	3	4	0	1	4
	能美市	14	5	5	1	1	0	3	1	0	9	0	2	2
	川北町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

表 5 結核死亡数及び死亡率の年次推移

(単位、死亡数：人、死亡率：人口 10 万対)

		H25 年	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年
南加賀管内	死亡数	1	1	1	2	2
	死亡率	0.4	0.4	0.4	0.9	0.9
石川県	死亡数	15	11	14	14	13
	死亡率	1.3	1.0	1.2	1.2	1.1
全 国	死亡数	2,087	2,099	1,955	1,892	2,303
	死亡率	1.7	1.7	1.6	1.5	1.8

(2) 結核患者管理状況

保健所では感染症法に基づき結核患者及び結核回復者について登録管理をしている（表6）。

登録中の患者に対しては、保健師等の家庭訪問により患者の治療支援や相談、積極的疫学調査や接触者健康診断の連絡調整などで面接や相談を実施している（表7）。治療終了者や治療中断者に対して、再

発の有無の検査として精密検査（管理検診）を実施している（表8）。

さらに、市町や学校長、施設長や事業者等に対する結核定期健康診断の把握（表9）を通して、実施徹底にかかる指導を行い、結核患者の家族及び接触者に対しては接触者健康診断を実施している（表10）。

表6 結核登録状況（単位：人）

平成29年1月1日～平成29年12月31日

	前年末 総数 (A)	本年中登録			本年中抹消					本年末 総数 (A+B-C)
		新規	転入	計 (B)	死亡	治ゆ 観察不要	転出	その他	計 (C)	
合計	84	51	1	52	15	31	1	1	48	88
結核患者	58	40	1	41	15	17	1	1	34	65
潜在性結核感染症	26	11	0	11	0	14	0	0	14	23

表7 保健指導実施状況（単位：件数）

平成29年度

訪 問		来 所 相 談		電 話 相 談	
実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
50	124	44	81		1,818

表8 管理検診実施状況（単位：人）

平成29年度

対象者 (A)	保健所	受 診 者 数						検 診 結 果		
		委 託 医 療 機 関		定期 病状 報告	他の医 療機関 等	計 (B)	受診率 (B/A)%	要医療	要観察	観 察 不 要
		内 訳								
		直接 撮影	喀痰							
105	0	72	25	30	0	102	97.1%	1	61	40

表9 結核定期健康診断の状況

平成29年度

	対象者数	受 診 者 数				検 診 結 果	
		受診者数	受診率%	検 査 内 容		患者発見数	発病の恐れのある者
				間接撮影	直接撮影		
合計	80,349	30,636	38.1%	18,814	11,845	2	0
事業主	13,040	12,651	97.0%	4,356	8,328	1	0
学校長	2,920	2,896	99.2%	984	1,912	1	0
施設長	2,071	2,054	99.2%	439	1,605	0	0
市町長	62,318	13,035	20.9%	13,035	0	0	0

※結核健康診断報告書が予防接種法施行規則の一部改正（平成25年4月1日施行）により、「結核に係る予防接種を受けた者の数に関する1月ごとの市町村長の報告」が廃止されたことに伴い、予防接種の報告欄が削除された。

表10 接触者健康診断実施状況（単位：人）

平成29年度

	対象者 (A)	受 診 者 数									検診結果			
		保健所実施	委 託 医 療 機 関 実 施 分						集団健診分	その 他実 施分	計 (B)	受診率 (B/A) %	発見 患者 数	発病 の恐 れ の 者
			内訳	内 訳				内訳						
				ツ反	直接 撮影	喀痰	IGRA							
合計	299	217	217	56	0	40	4	16	23	23	296	99.0%	2	9
患者家族	145	111	111	32	0	17	1	15	0	0	143	98.6%	0	6
その他	154	106	106	24	0	23	3	1	23	23	153	99.4%	2	3

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業者研修会</p>	<p>対 象：外国人雇用事業主及び健康管理担当者          実施日：平成 29 年 11 月 27 日（月） 参加者 19 名                    12 月 12 日（火） 参加者 20 名          内 容：労働者（外国人含む）の健康管理                  ・外国人結核患者の発病推移と発見過程の現状                  ・職場における感染症発生予防のための健康管理                  ・日常生活上の健康管理と疾病の早期受診について          講 師 保健所職員</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">結核対策研修会</p>	<p>対 象：医療機関等における医師及び医療関係者          実施日：平成 29 年 11 月 30 日（木）          内 容：結核対策研修会                  1) 講話：「皆さんへお願いしたいこと（届出等について）」                    担当：保健所職員                  2) 講演「肺結核の診断」                    講師：公益財団法人結核予防会結核研究所 研究主幹                        伊藤 邦彦 先生                    参加者 44 名</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">治療成功のための支援事業</p>	<p>コホート検討会（年 2 回）：診査会終了後に開催          実施日：平成 30 年 1 月 24 日（水）12 件                    平成 30 年 3 月 14 日（水）11 件          内 容：菌陽性肺結核患者の治療成績の判定および評価          検討対象：肺結核新登録患者（菌陽性）の内、治療終了者 23 名          参加者：感染症診査協議会委員、保健所長、保健所職員</p> <p>DOTS カンファレンス（17 件開催）          実施日：                  4/13(1 件)、4/21(1 件)、5/26(1 件)、5/29(1 件)、7/7(1 件)、7/21(1 件)、9/20(1 件)、                  10/6(1 件)、10/13(1 件)、11/29(2 件)、12/18(1 件)、12/22(1 件)、12/28(2 件)、3/6(1 件)、                  3/22(1 件)          会 場：小松市民病院、能美市立病院、加賀市医療センター、石川病院、石川県立中央病院          対 象：塗抹陽性肺結核患者及び主治医が服薬支援を必要と認めた患者（退院時に病棟から連絡、転院時に保健所から連絡）          参加者：病院主治医、担当看護師、薬剤師、地域医療連携室等                  服薬支援者（ケアマネージャー等）、保健所職員</p>

## 2 感染症予防

### (1) 感染症発生状況

#### 感染症発生動向調査

感染症の蔓延を防止するため、医療機関の協力のもと、患者の発生状況や病原体検出結果等の流行実態を早期かつ確に把握し、情報を速やかに地域に還元することにより、有効かつ適切な予防対策の確立に資することを目的として、通年実施している。

感染症予防相談状況では、延べ 3,834 件の相談に対応しており、感染症分類別では、結核が最も多く、ついで、感染性胃腸炎(ノ

ロウイルス含む)、インフルエンザ (H1N1 含む) の順となっている。

特に、インフルエンザやノロウイルスについては、保育園や高齢者施設などの社会福祉施設からの集団発生に対する相談が多く寄せられた。施設への早期訪問により、施設調査や消毒指導を行うことで、施設職員への二次感染防止のための指導を行った。

表 11-1 感染症発生状況 (全数把握)

		H25 年	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年
一類 (全 7 疾患)		0	0	0	0	0
二類 (全 7 疾患)	結核 (潜在性結核感染症含む)	46	34	43	42	51
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0
三類 (全 5 疾患)	腸管出血性大腸菌感染症	8	2	7	10	10
	コレラ	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	2	0	0
四類 (全 44 疾患)	A 型肝炎	0	0	0	0	1
	つつが虫病	2	1	1	0	2
	レジオネラ症	2	5	3	5	8
	デング熱	0	0	0	1	0
	日本紅斑熱	0	0	0	1	0
五類 (全 22 疾患)	アメーバ赤痢	3	1	1	1	0
	ウイルス性肝炎	1	1	0	0	0
	急性脳炎	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	2	0	0	0	0
	梅毒	1	1	2	2	2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0
	風しん	3	1	0	0	0
	麻しん	0	0	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	2	1	5
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	3
	水痘 (入院例)	0	0	1	2	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	4	2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	3	1
	破傷風	0	0	0	1	0
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	1

(感染症発生動向調査より)

表 11-2 感染症予防相談状況（延件数）

平成 29 年度

		訪問相談		来所相談		電話相談	
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
感染症総数		99	216	478	516	36	3102
（内訳）	一類感染症	0	0	0	0	0	0
	二類感染症（結核）	52	114	42	76	/	1677
	三類感染症	10	33	3	7	10	212
	（内訳） 腸管出血性大腸菌感染症	10	33	3	7	10	212
	四類感染症	11	11	0	0	11	61
	五類感染症	1	14	0	0	15	69
	その他	25	44	433	433	/	1083
	（内訳） 感染性胃腸炎（ノロウイルス含む）	/	27	/	0	/	228
インフルエンザ	/	0	/	0	/	576	
予防接種	/	0	/	0	/	35	
上記以外	/	17	/	433	/	244	

表12 感染症発生動向調査月別患者報告数

平成29年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
小児科	インフルエンザ	管内	949	1,192	1,199	474	49	0	0	12	1	0	66	231	4,173
		県内	4,200	6,430	3,842	1,244	251	13	1	50	10	1	434	1,123	17,599
	RSウイルス感染症	管内	2	9	16	3	2	0	0	67	175	76	21	16	387
		県内	9	17	52	32	19	14	16	447	646	180	49	31	1,512
	咽頭結膜熱	管内	14	41	43	20	16	30	10	8	3	3	8	29	225
		県内	44	88	100	56	97	172	77	55	54	54	121	127	1,045
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	管内	38	83	66	47	57	63	25	21	20	30	37	85	572
		県内	277	358	348	327	272	409	233	235	201	275	317	476	3,728
	感染性胃腸炎	管内	453	508	290	330	278	340	109	180	106	96	112	331	3,133
		県内	1,179	1,251	923	1,381	1,280	902	396	371	416	328	574	1,163	10,164
	水痘	管内	6	12	10	15	19	10	2	12	6	11	7	26	136
		県内	34	43	91	56	50	60	26	40	22	41	58	79	600
	手足口病	管内	2	0	0	1	0	31	263	367	58	59	65	33	879
		県内	7	8	5	4	41	296	1,513	1,203	371	190	149	67	3,854
	伝染性紅斑	管内	1	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	6
		県内	8	1	3	0	13	33	22	24	8	3	7	7	129
突発性発疹	管内	6	4	12	13	12	18	12	10	11	17	13	13	141	
	県内	39	40	48	62	47	71	69	63	61	63	61	46	670	
百日咳	管内	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	
	県内	0	0	2	1	0	1	2	1	0	2	0	0	9	
ヘルパンギーナ	管内	1	1	0	0	6	21	73	58	5	4	5	1	175	
	県内	1	3	0	0	14	42	195	175	85	54	23	9	601	
流行性耳下腺炎	管内	6	0	3	0	1	1	4	0	0	3	3	6	27	
	県内	21	11	16	17	7	42	35	18	4	17	12	16	216	
眼科	急性出血性結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県内	2	1	4	11	18	46	18	41	36	19	20	13	229	
基幹	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	無菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		県内	0	0	0	0	1	4	2	1	0	0	1	1	10
	マイコプラズマ肺炎	管内	2	9	5	2	2	6	3	4	2	3	3	3	44
		県内	21	18	15	7	7	10	14	21	23	17	22	15	190
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	管内	0	4	10	12	14	1	0	0	0	0	0	0	41	
	県内	0	4	14	35	19	14	0	0	1	0	0	0	87	

表13 感染症発生動向調査月別患者報告数

平成29年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
STD	性器クラミジア感染症	管内	3	1	1	3	1	0	2	5	1	2	1	1	21
		県内	21	17	17	22	26	20	33	31	21	31	23	18	280
	性器ヘルペスウイルス感染症	管内	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	1	0	6
		県内	1	8	19	11	14	6	8	12	12	9	15	14	129
	尖形コンジローム	管内	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	0	5
		県内	3	0	3	6	9	2	7	6	5	4	2	5	52
淋菌感染症	管内	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	4	
	県内	10	5	4	8	6	8	14	10	12	5	6	6	94	
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	管内	10	9	5	5	11	7	5	6	11	5	6	8	88
		県内	22	22	14	18	25	24	21	27	22	14	14	17	240
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	2	0	2	1	0	0	1	3	4	13
	薬剤耐性緑膿菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1



(2) インフルエンザ様集団かぜ発生状況

(表 14-1、14-2)

平成 29 年度冬期の発生状況として、29 年 11 月 15 日に小松市立第一小学校で集団発生があり、ウィルスサーベイランスの結果からは香港 A 型インフルエンザが優勢であった。

また、3 月以降は B 型が増え始めたが、集団発生としては 30 年 3 月 16 日の小松市立中海小学校の報告が最後であった。

表14-1 市町別インフルエンザ様集団かぜ発生状況(平成29年度)

区 分	石川県	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町
施設数		94	47	31	12	4
発生施設数	138	31	15	9	4	3
在籍数(人)	5,640	2,728	1,456	592	359	321
患者数(人)	2,362	236	112	69	15	40
措置状況	休校	5	4	4	0	0
	学年閉鎖	62	29	7	7	8
	学級閉鎖	71	45	30	6	6

注：在籍者及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計

注：同一施設で措置が変更した場合は、休校・学年閉鎖・学級閉鎖・授業打ち切りの措置規模の大きい方をカウントしてある。

表14-2 感染症発生動向調査 月別患者報告数(平成29年度)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ		管内	949	1,192	1,199	474	49	0	0	12	1	0	66	231	4,173
		県内	4,200	6,430	3,842	1,244	251	13	1	50	10	1	434	1,123	17,599

(3) エイズ相談状況 (表 15-1、表 15-2)

エイズに対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、エイズ相談窓口を設け、検査を希望する場合はHIV抗体検査を実施している。平成17年12月からエイズ予防対策をより一層推進するため、HIV迅速検査免疫クロマト法を導入した。平成21年度は受検者の利便性を考慮し、午前中及び夜間の検査について、予約なしで迅速検査を行った。平成22年3月からは、午

前中のみ迅速検査を行い、夜間はPA法とし、全て予約制とした。平成27年度からは、夜間もIC法となった。

HIV検査普及週間及び世界エイズデーでは、受検者の増加を図るため、公衆浴場やカラオケ店、コンビニエンスストア等に検査日時の記入されたポケットティッシュを配布し、普及啓発を行った。

表 15-1 エイズ相談状況

平成29年度 (単位: 件)

	相談件数			相談内容				相談方法		
	男	女	計	相談のみ	病院紹介	検査依頼	計	来所	電話	計
昼間	100	34	134	19	0	115	134	117	17	134
夜間	44	22	66	1	0	65	66	65	1	66
合計	144	56	200	20	0	180	200	182	18	200

表 15-2 HIV抗体検査状況

平成29年度 (単位: 件)

	受検者数			陽性者数			(再掲)迅速法による検査		
	男	女	計	男	女	計	受検者	要追加検査数	陽性者数
10歳代	0	1	1				1		
20歳代	32	26	58				42		
30歳代	44	13	57				35		
40歳代	25	8	33				17	1	0
50歳以上	26	5	31				20		
合計	127	53	180	0	0	0	115	1	0
(再掲)夜間	43	22	65			0	0	0	0

(4) 性感染症相談状況 (表 16-1、表 16-2、表 16-3)

性感染症に対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、性感染症相談窓口を設け、検査を希望する場合は、クラミジア及び梅毒検査を実施している。平成26年4月から、クラミジア検査が血液検査から抗原検査である尿

検査に変更され、陽性者に対しては紹介状を発行し、医療機関への受診を促す。また同時に医療機関への依頼書を渡す。医療機関からは結果書が返送される。

表 16-1 性感染症相談検査実施状況

平成29年度 (単位: 件)

	相談件数	梅毒血液検査				性器クラミジア感染症尿検査			
		計	陽性	陰性	判定不能	計	陽性	陰性	判定不能
男	107	94	0	94	0	95	5	90	0
女	48	41	0	41	0	42	4	38	0
計	155	135	0	135	0	137	9	128	0

表 16-2 クラミジア検査件数（性別・年齢別） 平成 29 年度（単位：件）

	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
男	95	1	21	34	21	11	7
女	42	2	18	12	7	2	1
計	137	3	39	46	28	13	8

表 16-3 梅毒検査件数（性別・年齢別） 平成 29 年度（単位：件）

	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
男	94	0	20	34	22	11	7
女	41	0	19	12	7	2	1
計	135	0	39	46	29	13	8

(5) 肝炎ウイルス相談状況（表 17）

肝炎ウイルスに対する正しい知識の普及及び感  
染者の早期発見・早期治療を目的に、肝炎ウイル

ス相談窓口を設け、検査を希望する場合は肝炎  
ウイルス検査を実施している。

表 17 肝炎ウイルス相談検査状況 平成 29 年度（単位：件）

	計	HCV 抗体 の検出	H C V 抗 体 検 査					HBs 抗原検査			相 談 件 数
		陰 性	陰 性	中力価及び低力価			高 力 価	計	陰 性	陽 性	
				HCV 抗原検査		陽 性					
				陰 性	陽 性						
男	90	0	90	0	0	0	0	90	90	0	177
女	47	0	47	0	0	0	0	47	47	0	
計	137	0	137	0	0	0	0	137	137	0	

(6) 肝炎ウイルス検査状況（表 18）

県民の肝炎ウイルス検査の受検機会を拡大し、  
肝炎の早期発見、治療の推進を図ることを目的

とし、肝炎ウイルス検査を医療機関においても実  
施している。

表 18 肝炎ウイルス検査状況 平成 29 年度（単位：件）

計	HCV 抗体の検出 または HCV 抗体検査	H C V 抗 体 検 査					HBs 抗原検査		
	陰 性	中力価及び低力価			高 力 価	計	陰 性	陽 性	
		HCV 核酸増幅検査							
		陰 性	陽 性						
680	680	0	0	0	680	675	5		

(7) 肝炎対策推進事業

肝炎ウイルス感染者フォローアップ事業

(ア) 目的

肝炎は、国内最大級の感染症であり、感染を放置すると肝硬変や肝がんといった重篤な病態に進行するとともに、ウイルスを通じた感染リスクがある。そのため、診断後間もない肝炎ウイルス感染者や治療中の方及び家族等に対して、肝炎についての正しい知識や治療方法に関する最新知見を学ぶための講演会・相談会を開催することにより、患者等が自分の病態を正しく認識し、長期間にわたる経過観察や治療を継続して行えるよう支援する。

(イ) 開催日・会場

平成 29 年 11 月 28 日(火) 14:30～16:00

石川県南加賀保健福祉センター

(ウ) 参加者

平成 14 年度から 29 年度の市町の肝炎ウイルス検診で感染者と確認された者等

講演会 18 名、個別相談 2 名参加

(エ) 内容

【講演会】

「B型肝炎・C型肝炎の最新の治療」

講師：金沢大学附属病院

特任教授 島上 哲朗 氏

【個別相談】

助言者：金沢大学附属病院

特任教授 島上 哲朗 氏

(根拠法令：肝炎対策基本法 第 17 条)

(8) 「世界エイズデー」に係る普及啓発事業

(ア) 目的

性に関する意思決定や行動選択に係る能力の形成過程にある青少年の性に関する正しい知識を普及するとともに、青少年の性行動の背景にある心の問題（寂しさや自己肯定感の低さ等）に、青少年に関わる関係者が適切に対処できるよう研修することにより、青少年の生きる力を育成することに寄与する。

(イ) 開催日・会場

平成 30 年 3 月 1 日(木) 14:30～17:00

石川県南加賀保健福祉センター

(ウ) 参加者

小・中・高校の養護教諭、保育園保育士、保健所・市町職員、医療機関職員等

27 名参加

(エ) 内容

【報告】

「南加賀管内における性感染症、若年妊娠の実態」

報告者：保健福祉センター職員

【講演】

「若年妊娠の実態と地域連携」

講師：荒木病院

理事長 荒木 重平 氏

看護師長 太田 紀子 氏

【活動報告・ディスカッション】

「学校現場で求められていること

～加賀市思春期講座をとおして～」

報告者：加賀市山代中学校

養護教諭 梶谷 泉 氏

ゆたか助産院

助産師 吉田 みち代 氏

保健福祉センター職員